＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	中山間・地域振興課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【重点】生き活き拠点（小さな拠点）の形成促進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	50	52	54	56
現況値	48箇所	実績値	51			
目標値	56箇所	達成率（%）	150.0			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	5			

3 関連する事業名

・生き活き拠点づくり促進事業

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

生き活き拠点の形成促進については、地域において策定された拠点形成計画に基づき、多世代の住民の交流や地域運営組織の多様な活動の拠点となる施設の整備に取り組む市町村を支援した。今後、本施設を拠点とした住民による地域活性化や課題解決に向けた取組の展開が期待される。

6 今後の施策推進に向けての課題

集落生活圏の維持につながる拠点の整備には、地域の全体像や将来ビジョンの明確化と、ビジョン実現に向けた具体的取組を伴うことが必要である。そのため、地域の方向性と自ら決定することの重要性を認識し、地域課題解決のための話し合いや具体的取組の主体となる地域運営組織に対する支援とともに、地域運営組織を支える市町村の取組に対する支援を行っていく必要がある。これらの取組を通じて、地域における日常生活に必要な生活サービスの提供体制を維持し、安心して暮らし続けることができる地域づくりを進める。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	中山間・地域振興課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【重点】集落機能の維持・強化

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	地域づくりの活動計画等を策定している地域運営組織（RMO）の数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	113	119	125	131
現況値	101組織	実績値	129			
目標値	131組織	達成率（%）	233.0			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	5			

3 関連する事業名

・おかやま元気！集落活動促進支援事業
・地域運営組織体制整備推進事業
・支えあう地域づくり応援事業（集落再編支援事業）

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

「おかやま元気！集落」制度による支援を活用し、地域の課題解決や、地域資源の活用、地域内外の交流など、集落機能の維持・強化に向けた、地域による自主的な取組が進んでいる。また、市町村職員や地域住民等、地域づくり関係者を対象としたフォーラムを開催し、地域運営組織の推進に向けた共通認識の形成や機運の醸成を図ったほか、5市において地域支援の庁内推進体制整備の支援や先進的地域での地域運営組織の支援を行い、庁内連携や地域支援ノウハウの蓄積等につながっている。また、農村RMOの活動に取り組む地域を国事業等の活用により支援し、農業生産活動や地域の生活支援活動を継続できる体制の構築に結びついている。

6 今後の施策推進に向けての課題

市町村と連携を図り、支援を必要としている潜在地域を掘り起こすとともに、活動の停滞が見られる既存のおかやま元気！集落に対しては、研修会・交流会の開催や組織・事業の見直しの支援等、各地域のニーズに応じた支援を行っていく必要があるほか、農村RMOについては、農家と地域住民の相互理解を一層深めていく必要がある。また、市町村に対して、地域支援の庁内体制整備やノウハウ蓄積の支援を引き続き行うとともに、市町村と一緒に地域に入り、地域運営組織の立ち上げや再構築の支援を行うなど、市町村と連携しながら、地域住民が互いに支え合う仕組みづくりを推進して、集落機能の維持・強化を図っていく必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	中山間・地域振興課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【重点】多様な主体の活躍による持続可能な中山間地域等の形成促進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	地域おこし協力隊退任後に県内に定住した人数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	328	358	389	420
現況値	268人	実績値	369			
目標値	420人	達成率（%）	168.3			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	5			

3 関連する事業名

・持続可能な中山間地域等形成事業
・支えあう地域づくり応援事業（集落再編支援事業を除く）
・地域おこし協力隊サポート事業
・晴れの国離島交流促進・振興事業

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

第4次プランの地域別構想を踏まえながら多様な主体と連携して地域の産業振興等に取り組んだほか、地域の課題解決に向けて市町村が住民や団体と連携して実施する取組を支援し、持続可能な地域づくりを推進した。また、市町村による地域おこし協力隊の活用促進を図るとともに、隊員の円滑な活動や地域への定着促進を図るため、地域の受入体制構築等の支援や、サポートデスクの運営、市町村・隊員向けの研修会等を実施し、隊員による特色ある取組が県内各地で行われているほか、任期終了後の定着にもつながっている。また、離島での自然・伝統の体験等や、地域課題解決に向けて地域と協働した調査・研究活動を通じて、小中学生や大学生の地域への理解や関心、愛着心を醸成することができたほか、地域課題解決に向けた具体的な取組にもつながっている。

6 今後の施策推進に向けての課題

持続可能な中山間地域等の形成に向け、県民局や市町村と連携し、事業の目的や実効性を考慮しながら、それぞれの地域の実情に応じた取組を進めていく。地域おこし協力隊については、地域に合ったより良い人材を獲得するための市町村への支援や、隊員間の連携・交流の深化に取り組み、隊員が地域で継続して活躍できるよう支援する。引き続き、多様な主体と連携して、安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めていく必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	中山間・地域振興課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【重点】移住・定住の促進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	移住支援制度の利用件数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	2,000	4,000	6,000	8,000
現況値	1,873件/年	実績値	2,267			
目標値	8,000件	達成率（%）	113.4			
備考	目標値は2025～2028年度の累計	達成度	4			

3 関連する事業名

・岡山移住・定住促進パワーアップ事業
・吉備高原都市住区分譲加速化パートナーシップ事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

先輩移住者と移住希望者とのつながりづくりを図りながら、移住検討の段階に応じた戦略的な情報発信を展開した。併せて、市町村等と連携してきめ細かな受入体制の整備に取り組んだ結果、目標を上回る成果を達成した。
また、オンラインでのセミナーやナイター相談会を数多く開催し、移住関心層や情報収集段階層に対する切れ目ない情報発信、サポートを継続したことで、移住支援制度の利用拡大につなげることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

引き続き市町村等と連携した丁寧な相談対応を継続していく一方で、地域づくりの新たな担い手となり得る女性や若者層への効果的なアプローチが課題となっている。デジタルマーケティングによる効果検証等も活用しながら、戦略的な情報発信を強化し、移住・定住促進を図る必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	交通政策課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【重点】地域公共交通ネットワークの活性化

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	地域のニーズに応じた交通サービスを導入した件数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	5	10	15	20
現況値	4件/年	実績値	4			
目標値	20件	達成率（%）	80.0			
備考	目標値は2025～2028年度の累計	達成度	3			

3 関連する事業名

・地域公共交通維持確保支援事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

市町村の公共交通会議への参画等を通じて、交通空白地への公共ライドシェアの新たな導入や路線バスから乗合タクシーへの運行方式の変更など、地域の実情に応じた利便性の高い公共交通体系の構築を推進し、地域公共交通ネットワークの活性化につなげた。

6 今後の施策推進に向けての課題

人口減少や自家用車の普及等による利用者の減少に加え、運転手不足、燃料価格高騰など地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しており、昨年度策定した「岡山県地域公共交通ビジョン」の考え方を踏まえ、国、県、市町村、交通事業者、地域住民等と連携しながら、鉄道やバス、デマンド交通などに加え、自家用車による旅客運送等も含めた多様な輸送資源を活用して、地域の実情に応じた利便性の高い公共交通体系の構築を進める必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	道路建設課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【重点】地域の生活を支える道づくり

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	441	478	514	550
現況値	353箇所	実績値	442			
目標値	550箇所	達成率（%）	101.1			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	4			

3 関連する事業名

・おかやまスタンダード道路事業
・中山間地域等交通難所緊急対策事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

すれ違いが困難な箇所や見通しの悪い交通難所を442箇所（H29年度からの累計）改善し、中山間地域等における生活の中心となる拠点的地域の機能強化を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

引き続き、すれ違いが困難な箇所や見通しの悪い交通難所の改善を効果的・効率的に推進し、中山間地域等における生活の中心となる拠点的地域の機能強化を図る必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	鳥獣害対策室

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【重点】農作物等の鳥獣被害防止対策の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	シカの捕獲数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1.5	3.0	4.5	6.0
現況値	1.5万頭/年	実績値	1.7			
目標値	6.0万頭	達成率（%）	113.3			
備考	目標値は2025～2028年度の累計	達成度	4			

指標名	イノシシの捕獲数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	3.0	6.0	9.0	12.0
現況値	3.0万頭/年	実績値	1.6			
目標値	12.0万頭	達成率（%）	53.3			
備考	目標値は2025～2028年度の累計	達成度	2			

3 関連する事業名

・有害獣捕獲強化対策事業
・鳥獣被害に強い地域支援事業
・新規狩猟者担い手確保・育成対策事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

有害鳥獣の効果的かつ効率的な捕獲のため、市町村が行う有害許可捕獲への支援に加え、兵庫・鳥取との3県連携によるシカの集中捕獲、鳥獣対策の専門知識を有する人材や実践的に活躍できる狩猟の担い手の育成を総合的に推進し、シカでは約1.7万頭、イノシシでは約1.6万頭を捕獲し、農林水産被害金額の軽減を図った。なお、イノシシについては、捕獲頭数が目標を下回ったが、通年による捕獲強化の効果や豚熱の影響が相まって、被害金額も大幅に減少した。

6 今後の施策推進に向けての課題

野生鳥獣による農作物等の被害金額はピーク時より減少しているものの、依然として高止まり傾向にある。また、鳥獣の生息域の拡大に伴い、これまで被害の少なかった地域での被害の増加や、再造林地でのシカによる苗木の食害、イノシシにおける豚熱感染事例の続発など、新たな課題への対応が必要となっている。

このため、市町村等と連携し、防護、捕獲、利活用、担い手の確保・育成、狩猟の適正化の対策を総合的に実施するとともに、DXを活用した捕獲技術の確立、再造林地でのシカ被害対策技術の検討、イノシシの捕獲強化による飼養豚への豚熱感染拡大防止など新たな課題の解決に向けた取組を進める。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	中山間・地域振興課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【推進】地域づくりへの民間参加等の促進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	おかやま元気！集落応援団の派遣回数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	14	15	16	18
現況値	13回/年	実績値	10			
目標値	18回/年	達成率（%）	71.4			
備考		達成度	2			

3 関連する事業名

・中山間地域協働支援センター事業

4 施策達成レベル

2.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

中山間地域協働支援センター事業により、センターの委託先であるNPO法人の持つノウハウや機動力を生かしながら、企業や大学生等からなる登録ボランティアの地域活動への派遣や、地域のニーズに応じた企業とのマッチング等を行い、地域づくりへの民間参加を促進した。

6 今後の施策推進に向けての課題

積極的な情報発信や、地域づくりに参加・応援する機会の幅広な模索、マッチング等につながる可能性の高い案件の地域への提案等に引き続き取り組み、地域と企業・都市住民等との連携・交流を促進するとともに、地域が抱える課題や地域づくりの取組についての理解を促し、民間参加の裾野を拡大していく必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	都市計画課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【推進】持続可能な都市づくりの促進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	立地適正化計画等策定市町数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	12	13	14	14
現況値	10市町	実績値	12			
目標値	14市町	達成率（%）	100.0			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	4			

3 関連する事業名

・都市計画基礎調査

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、2025年度までに12市町が立地適正化計画等の策定・公表を行った。
また、5市については、2026年度以降の策定・公表に向けて、現在取り組んでいる。さらに、未策定の市町については、市町との協議時に立地適正化計画に関する情報提供等を適宜行うとともに、都市計画の研修時等に、制度の周知を行っている。

6 今後の施策推進に向けての課題

策定が義務付けられた計画ではないため、策定に消極的な市町があるが、コンパクトで持続可能なまちづくりに向けては必要な計画であるため、制度の周知と併せて補助制度の活用も伝えるなど適宜適切な助言を行い、策定を促す必要がある。